

まちづくりを担う公民館活動をめざして ～校区に集う住民主体の文化事業～

築上町 生涯学習課中央公民館【公立公民館】 館長 平塚 晴夫

1. 事業名

築上町まちづくり推進事業

築上町文化・教育関係団体育成事業

2. 事業の目的

築上町の66自治会が自立自興の精神で地域を活性化し、校区において文化・社会教育関係団体の育成に寄与するため、その事業に要する経費を予算の範囲内で交付する。

3. 事業の実施主体

築上町の66自治会

4. 連携・協力機関・団体等

築上町・築上町自治公民館連合会・築上町中央公民館

5. 事業予算

築上町まちづくり推進交付金 66自治会 計 36,392千円

築上町文化・教育関係団体育成事業補助金 計 616千円

6. 事業の内容

(1) 築上町まちづくり推進事業

①地域づくり

築上町で言う「まちづくり」とは昭和62年から始まる。当時は「ムラ」という概念で、地縁的な住民組織である町内会を基礎単位とした。主体的に相互扶助、協働社会を構築する地域を「ムラ」と言い、町内会を改め自治会として「ムラづくり」を推進してきた。

②自立自興の精神

心のふれあいを基調に、個人の意思、選択を尊重して全員の自主参加を目的に「自立自興の精神」で推進することを基本的な考えとして行っていく。

③まちづくりの3本の柱

地域づくりの基本的な施策として3本の柱を定めた。

ア 生活環境の整備

地域の特徴を生かし、住みよい環境を次世代に伝える。

道路、公園、文化施設、河川、溜池などの地域整備や防犯、防災などの地域整備を計画・実施し、快適で美しい文化的な環境づくりに努める。

イ 自治公民館活動

町内の66自治会に自治公民館長を置き、館長を中心として各種グループ、役員で社会教育や福祉活動を推進する。ミニ文化祭の開催や伝統行事の継承・保存、スポーツ・レクリエーション活動などを計画・実施する。

ウ 産業振興の推進

地域に適合した事業を生かし、家庭にいる人たちを含め、地域産業の振興を推進する。農業生産地区については土地利用計画に基づいた基盤整備の推進と生産経営システムを構築し、コストダウンを図ることで、余剰労働力を他産業に向けて所得の増加を促進する。市街地については都市計画に伴い再開発区画整理、街路事業などで地域の活性化と安全で利便性のある文化商業集積ゾーンを推進する。

④地区計画書の作成

地区計画書はマスタープランとして地域のビジョン、地域の環境整備、自治公民館活動、産業振興の課題をその地区の特性を生かした重点目標として捉え、地区の将来像を計画書として作成する。これを基に毎年地区実施計画書を自治会毎に提出する。特に要望については、短期、中期、長期に分け優先順位をつけて行政に提出する。

⑤築上町まちづくり推進交付金制度

交付金は、築上町まちづくり推進交付金交付規程を定め、自治会において創意と工夫によるまちづくりを進めるために必要な経費に対して交付する。

ア 自治会運営のための役員の届け出

自治会を運営する中で必要とされる役員を選定し、届け出る。

自治会長、自治公民館長、自治公民館主事、産業振興部長、生活環境部長、書記長、会計等。

イ 使い道自由な交付金

行政が交付する交付金は自治会の世帯数、人数、自治会文化祭交付金、役員手当、広報連絡員手当を計算し交付するが、交付した交付金の使い道を限定することなく自治会が独自に考え使える。

ウ 交付金額

・平成25年度交付額	36,417千円
・平成26年度交付額	36,387千円
・平成27年度交付額	36,384千円

(2) 築上町文化・教育関係団体育成事業

①事業の目的

文化芸術振興基本法及び社会教育法に基づき、文化・社会教育関係団体を育成するため、その経費について交付する。

②事業の実施主体

校区自治公民館

③連携・協力機関・団体等

文化協会、子ども会、老人会、小学校、PTA、保育園、体育推進員、民生委員、保健推進委員、消防団

④事業内容

ア 各校区自治会で開催するミニ文化祭

校区毎に自治公民館長が主体となり文化祭実行委員会を組織して運営する。

実行委員に校区内の自治公民館長、老人会、子ども会育成会、食生活改善推進委員会、消防団、P T A、小学校校長、教頭で組織している。

イ 通学合宿（椎田校区）

自治公民館長を中心に小学校、P T A、民生委員、食生活改善推進会等で運営委員会を組織し、6泊7日の通学合宿を実施している。



7. 事業の成果

(1) 築上町まちづくり推進事業と自治公民館活動

築上町の特色としてはまちづくり推進事業の中で「自立自興の精神」を育み、各地区に自治公民館長を置くことで地域の文化活動を推進し、地域の団結、ふれあい活動に繋げている。

(2) 連携と協力

校区単位で開催するため、学校、P T A、生徒の参加や協力が得られ、地域の活性化が促進する。

8. 今後の課題

(1) 人口減

築上町は人口減という大きな課題をかかえている。全国的にも問題となっているが、築上町では年間で約200人前後の人口が減少しており、また、人口減の原因でもある少子高齢化の進行が進んでいる。これに伴い、自治会等の運営、イベントの参加者も少なくなり、実施が困難になる惧れがある。

こうしたことから、町のにぎわい、活気がどんどん低下し、町としての魅力がなくなり、人口減少に拍車をかけるという悪循環に陥る可能性が懸念される。

(2) 学校の廃校

人口の減少、少子高齢化により学校の統廃合が進み、校区自体の存在が危ぶまれる。

(3) 指導者の育成

地域づくりや文化活動を推進するためには、何といても指導者の育成が重要になる。現在あらゆる分野で後継者不足が問題となる中、今後の対策を考えていかなければならない。

問い合わせ先

〒829-0331 福岡県築上郡築上町大字高塚756番地 築上町中央公民館 事務局
T E L . 0930-56-0251/FAX. 0930-56-0376 e-mail : cyukou@chiku.jo.fukuoka.jp